2400–2485 MHz RFアンプモジュール、最小飽和出力50 W



LCPAM-2400-2485-50は、2400–2485 MHzの通信送信リンク、航法、無線通信の信号を増幅します。最小飽和出力は50 W、飽和時の標準利得は47 dBです。

原資料には標準動作電圧28 V DCと、50 W動作点での標準動的電流4 Aが示されています。外形図にはSMAメス、PA EN、電源端子が記載されています。筐体は128×48×23 mmで取付穴は4か所です。コネクタや端子の突出部は寸法に含みません。

電気的仕様

項目	記号	最小値	代表値	最大値	単位
動作周波数	BW	2400	-	2485	MHz
飽和RF出力電力	PSAT	50	-	-	W
電力利得 @PSAT	Gp	-	47	-	dB
動作電圧	VDC	-	28	-	V
動的電流 @50 W	IDD	-	4	-	A
高調波 @50 W	H	-	-25	-	dBc
出力インピーダンス	Impedance	-	50	-	Ω
電力付加効率	Eff	-	40	-	%

インターフェース

インターフェース	仕様
RFコネクタ	SMA、メス
アンプイネーブル接続	PA EN (外形図のPA EN表示。)
電源・接地表示	+28V/GND (外形図の+28V/GND表示。)

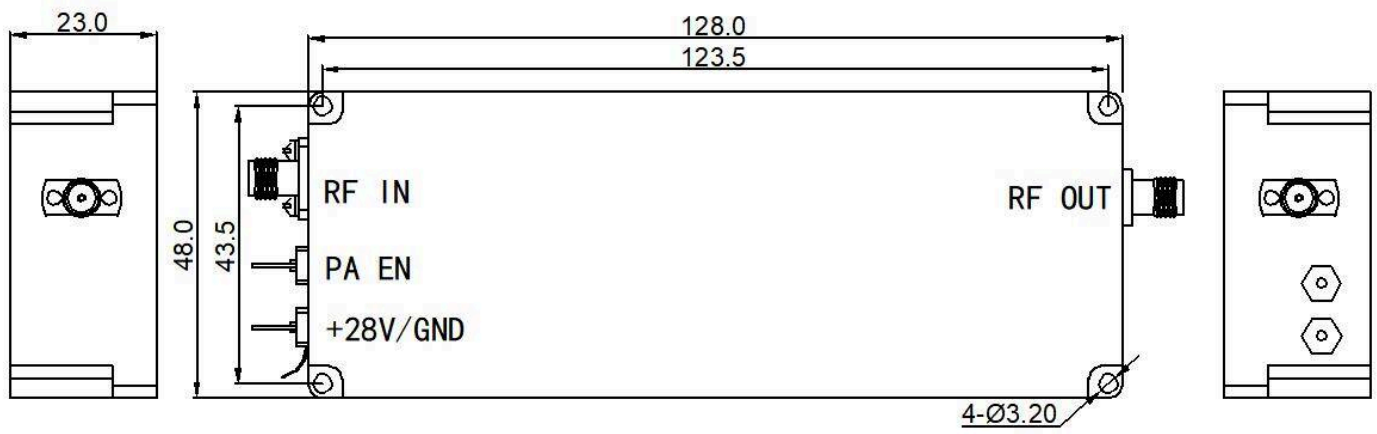
機械的仕様

項目	値	単位
筐体寸法 [1]	128 × 48 × 23	mm
取付穴中心間距離 [2]	123.5 × 43.5	mm
取付穴 [3]	4 × Ø3.20	mm

[1] 外形図に示す筐体寸法。 コネクタおよび端子の突出部を除きます。

[2] 外形図に示す穴中心間の寸法。

[3] 外形図に示す4か所の穴。



文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。